

# ピュアタウン 通信

No.  
062

12月

## インフルエンザ



### ●風邪とインフルエンザの違い

|        | かぜ症候群        | インフルエンザ     |
|--------|--------------|-------------|
| 発症時の症状 | 徐々に悪化        | 急激に悪化       |
| 原因     | さまざまなウイルス・細菌 | インフルエンザウイルス |
| 発熱     | 無し。あっても37度程度 | 38度以上のことが多い |
| 悪寒     | 軽い           | 強い          |
| 症状・経過  | 上気道炎症状が中止    | 全身症状が強い     |
| 合併症    | 少ない          | 肺炎などが起こり得る  |
| 発生状況   | 散発的          | 流行する        |

下記のような時は合併症の可能性があるので、速やかに受診してください。



#### ●肺炎の症状

高熱が3～4日たっても下がらない／いったん下がった熱がぶり返した／呼吸が苦しい

#### ●脳症の症状

体の痙攣／異常な行動／意識がもうろうとしている

### ●インフルエンザはかからない！うつさない！が大事

予防のためのワクチン接種を11月～12月中旬までに受けられることをお勧めします。特に高齢者や子ども、持病のある方、およびその家族はできるだけ受けてください。ワクチン接種を受けてから抗体ができて効果が現れるまで2～3週間かかります。

インフルエンザを予防しよう！



### ●よくある質問

#### ①なぜワクチン接種をうけてもインフルエンザにかかるの？

→ワクチンはそのシーズンに流行するタイプを予想して作られます。ウイルスの変異が生じたり、予想はずれると有効率が下がってしまいます。しかし、ワクチン接種を受けることでインフルエンザにかかりにくくなったり、かかっても重症化を避けることができるのです。

#### ②ワクチンの副反応はないの？

→現在使用されているのは不活化ワクチンで、生ワクチンと異なり副反応はほとんどありません注射をした場所が赤く腫れることはよくありますが、数日で治ります。

#### ③熱は下げない方がいいの？

→発熱は身体がウイルスと戦っているサイン。ウイルスは熱に弱いので発熱したほうが好都合な場合もあります。ただし、高熱のため体力が消耗することもあり、その際は効果がマイルドな解熱剤が処方されます。

☆☆☆年末年始のお知らせ☆☆☆

12月28日午後 ～ 1月3日

良いお年を  
お迎え下さい

時節柄、ご多忙のことと存じますが、くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。  
来たる2020年が皆様にとって健康で笑顔あふれる1年でありますよう、  
スタッフ一同お祈り申し上げます。

